

# CLS

# 播磨瓦版

第四号

2014年7月30日

CLSの回想



八月になると、CLSプログラムはすぐ終わってしまいます。プログラムが終わる前に、CLSの学生にこの夏の姫路での経験について聞いたかったので、最も難しかったことと最も良かったことについてインタビューをしました。鈴組のマケンジー・タイルさんは「日本語だけで話すということは大きなチャレンジだったので、プログラムはとも難しかったのですが、今CLSの友達と姫路獨協大学の友達と日本語でよく喋ることができるようになったから、良かったです。」と話してくれました。竹組のコリー・マケンジーさんは「一番難しいことは会話を覚えることでしたが、会話を繰り返し練習したおかげで私の日本語はもっと自然になったと思います。」と話してくれました。桃組のアレックス・エストレラさんは「CLSの学生とラゲージバディーと友達になることは最初は難しかったのですが、皆と仲良くなれて本当によかったです！」と答えてくれました。CLSの学生の日本語のレベルは様々ですが、インタビューを受けてくれた人たちに共通していたのは日本語で美味しくしゃべるのが一番難しかったと言う事です。しかし、CLSの学生の友達と姫路獨協大学の友達と日本語で会話をする機会がたくさんあったので、CLSの学生の日本語は本当に上達したと思います。姫路獨協大学、いい経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

ローラ・バーグ

# 日本のキリスト教

初めて日本に来た時、日本で生活するのは難しいと思いました。今 realities は初めて外国に来て、今までアメリカを出たことがなかったのが日本と言う国のことをあまり知りませんでした。なので、日本は私の母国であるアメリカとどれくらい似ているのかどうかも分かりませんでした。

私にとって、何かのコミュニティに属することはとても大切で、ボストンでは教会が私のコミュニティです。なので今回のように新しい場所にしばらく住むことになった場合、私は教会を見つけて、そのコミュニティに参加したいと思っていました。日本は人口の1%だけがクリスチャンだということを知った時、今回の日本滞在中にその希望をかなえるのはちょっと難しいと思いました。しかし、ある日諦めそうになっているときに駅の方を歩いていたら、クリスチャンの歌を歌っている人を見つけました。あとで、その人から姫路のオンオリーという教会について聞きました。私は日本のキリスト教のことをもっと勉強したかったのでその日曜日に教会にいきました。姫路は小さい町なので教会がないかもしれないと思っていました。しかし、ちょっと遠いですが、教会を見つけたことができました。その教会は小さいのでほとんどが老人の方ですが、若い人も何人かいます。説教は日本語で行われるので、五歳上の国際学校に通っているなつきさんが英語に訳してくれました。なつきさんのお母さんは私に教会に行く目的などについて説明してくださいました。

**質問…この教会についてどう知りましたか？**

なつきさん…私は韓国に生まれただけで、日本人と結婚したのでそのあと日本に来て姫路に今住んでいます。でも日本に初めて来た時、私はいつも寂しかったです。なぜかという、私には友達がいなかったし、日本語も分からなかったので毎日泣いていました。

その時まで、誰も私のことを愛していませんでした。ある日偶然この教会を見つけたことがありました。この教会に通ううちに、神様は私のことを愛していると思いはじめることができ、時間はかかりましたが徐々に寂しくなくなりました。

**質問…日本は1%しかクリスチャンがいないのですが、他の日本人が来るののために何か工夫をしていますか？**

なつきさん…とっても難しいのですが、毎日駅とかに行ってクリスチャンの歌を歌ってパンフレットを渡したりして人を誘っています。

教会にいる方々の多くは外国人なので、私と日本に初めて来た時の経験が少し似ていたためか、みなさんとすぐに友達になることができました。皆さんは暖かくむかえてくれて本当にやさしかったです。日本でのクリスチャンコミュニティの結びつきはすごく強いと思います。

エリザベス・ムリヨ

## 偉大なる旅路

## しまなみ海道

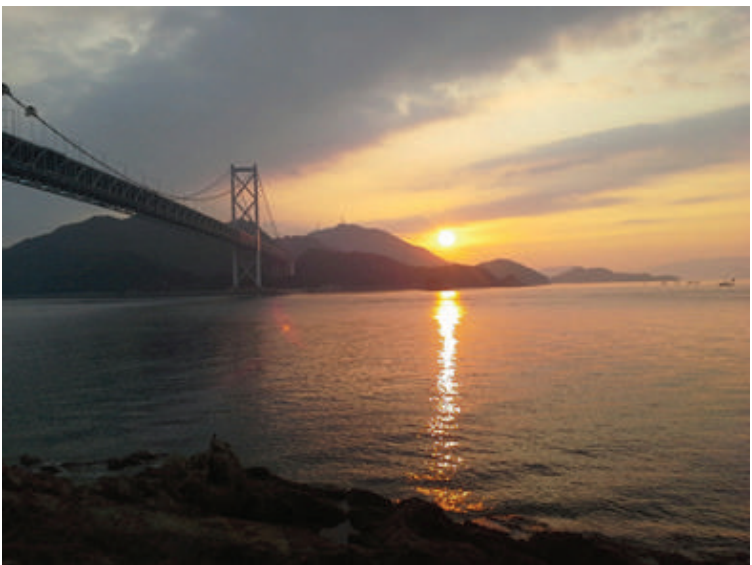
### 要約

最近買ったロングライド自転車で長距離サイクリングの初心者として尾道市から愛媛県の今治市までの所謂しまなみ海道を走りました

。金曜日の夜8時ごろにスタートし、ナイトサイクリングで因島まで行きました

。因島大橋記念公園で野宿して、日の出で目覚めました

。走行距離は合計74キロで、帰りは今治港からフェリーに乗って来島海崎大橋を背景とした夕焼けを見ました。



因島港に到着し、ギリギリ尾道行き最終バスに間に合いました。尾道駅につくところでタイミングよくバスが止まっていて、車内からビルとビルの間には花火のファイナーレが見えたことは一日の苦労の褒美となりました。ちょうど24時間前に同じ場所からスタートしたことを振り返って我ながら頑張ったなと思えました。反省点…現在は肩がピリピリと真っ赤に焼け、やはり日焼け止めを塗ればよかったなと反省しています。



### 島名物の味見…

因島で尾道ラーメン、生口島で焼きうどん、伯方島で海鮮丼、大島でみかんジュースとと生カキ。

大島で飲んだみかんジュースと似たように、この旅は濃くて100%に充実した一日でした。

### 教訓

生口島のサンセットビーチで海で泳いだあと、タイヤやき空気を入れたとこで共通の目的地を目指しておられた船越俊司さんと田中大輔さんという旅人二人と出会って、一緒に走ることになりました。一人より三人で海道を走りながら旅を満喫するのがもつと楽しくなりました。

「旅の醍醐味は出会い」というのを強く感じた旅路でした。

ギャレット・ノリス



## 今日は、私も観光客ですね！

姫路城のためだけではなくて、どうしてこんなに多くの人がいつも姫路を観光しているのか疑問に思いました。そして、このことについて調べるために、姫路観光案内場に行き、そこで木内真美さんというスタッフさんにインタビューさせて頂きました。

まず、観光は姫路の経済にとって、どのように大切か聞くと、木内さんは「観光客から得る利益は姫路の店やレストランにとって非常に大切です。」と答えてくださいました。次に、観光客が姫路に滞在する期間について聞くと「姫路駅は新幹線が止まるから、しばしば広島や京都へ行く人は一日姫路へも寄ります。」と説明してくださいました。中国人が多くまた、他県からの日本人やヨーロッパからもよく来ます。そして若い大人もお年寄りも多いそうです。観光客のニーズに答えるために姫路観光案内場には中国語か英語を話せる人がほとんどいつでも必要な時は対応してくれそうです。

では、どのような理由で観光客は姫路観光案内場を尋ねるのでしょうか。その質問に対する木内さんの答えに私はちょっとびっくりしました。木内さんによると、姫路観光案内場から姫路城はよく見えますが、毎日姫路城の行き方を知らない人が姫路観光案内場に尋ねて来るそうです。「姫路城の他に、どんな目的で人々は姫路へ旅行しますか。」と聞くと木内さんは「書写山もとても有名だからです。」と答えてくれました。書写山園教寺は966年に建てられた天台宗の寺です。「ラスト侍」と言うハリウッドが作った映画の色々なシーンが書写山園教寺で撮影されました。

そして最後に、姫路のおすすめを伺うと、木内さんはおでんを食べることを勧めてくださいました。姫路の観光はそんなに面白いと知らなかったのですが、木内さんと話して、色々勉強になりました。

ヘレン・ロルフ

## 剣道

7月18日に剣道の特別講演がありました。中学生のときから私は剣道に興味を持っていました。なぜなら、私はフランスのフェンシングというスポーツをするからです。アメリカのテレビではあまり剣道を見たことがありませんが、昔から日本の本やアニメが大好きで、日本の文化に大変興味があったので、テレビ以外の場で剣道を見たことがありました。

公演中、私は堀口先生の説明が全部わかったことにとてもびっくりしましたが、同時にとてもわくわくしました。上手な剣道部員の方々がとてもやさしく指導してくれました。剣道の走り方はフェンシングのようで、ちょっと難しかったです。私は少し下手でしたが、とても楽しかったです。剣道の仕方を習えて嬉しかったです。一生忘れられない経験となりました。

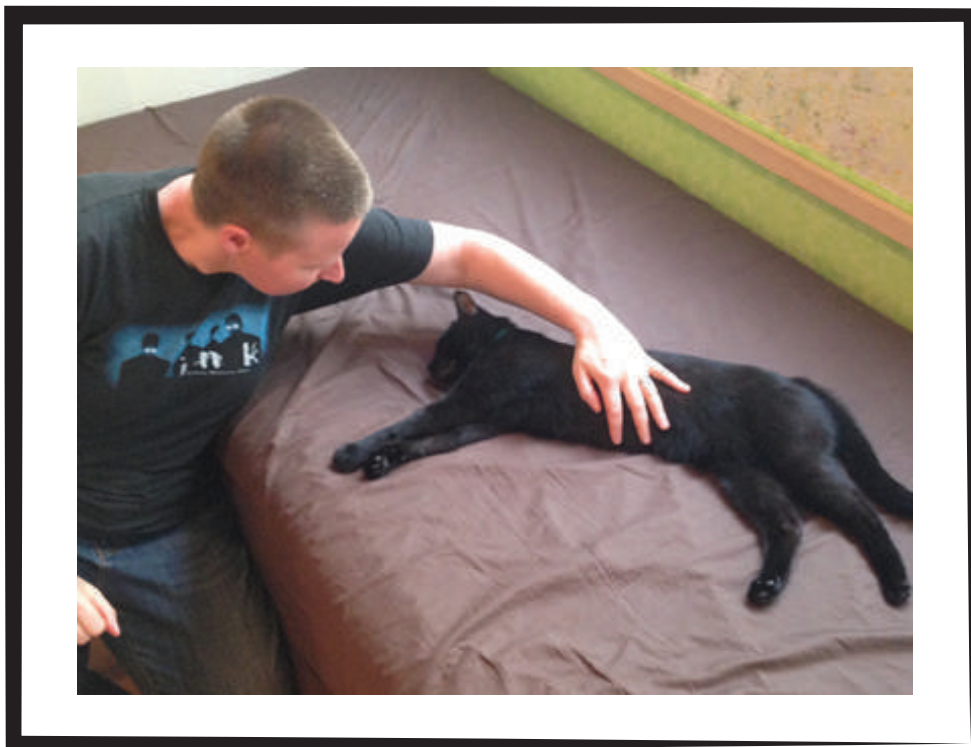
花・ブッシーヘッド

# 猫カフェ

先週の日曜日、CLSの学生のステイガーさんと「ねこびやか」という猫カフェに行きました。12時半に着きましたが、とても混んでいたのです。1時20分には帰りました。ねこびやかには黒猫が七匹いましたが、そのうちの六匹が寝ていました。これには少しがっかりしましたが、たちはしょうがなく寝ている猫をなでました。



ケリス・カウイスピガイ



## 委員会の紹介 カリキュラム委員会



ダーベラ・マックドネル



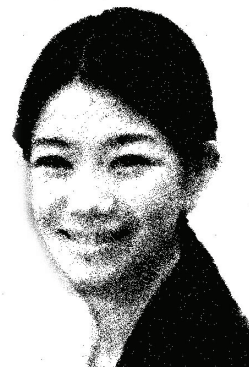
ローラ・バーグ



フィリップ・バックマン



ポーシャ・スティガー



寺田愛先生



アレクサンドラ・エストレラ



ケリス・カウイスピガイ



アンナ・アンドリチャク

# 姫路城でのボランティア清掃活動

7月13日に姫路城のボランティア活動に参加しました。毎日、学校のバスから姫路城を見ていて、とてもきれいで歴史のある所だと思っていて、アメリカでも積極的にボランティアをしていましたので、姫路城のボランティア活動を楽しみにしていました。皆さんと一緒に姫路城の周辺を掃除したり地域の人と話したりすることができて、とてもよかったですと思います。姫路城清掃活動は非常に楽しくて、任天堂の「ピクミン」というテレビゲームをしているような感じがしました。

しかし、雨が降っていたので、ズブ濡れになってしまいました。姫路城の辺に住んでいる猫も濡れないように、木の下で座っているのを見ました。かわいそうだと思います。

掃除の後、ボランティアの皆さんと一緒に朝ご飯を食べてゲームもしました。「ベスト・フレンド」というゲームはものすごく楽しかったです。「ベスト・フレンド」は、一人がグループの中からの一番気が合う「ベストフレンド」を探すゲームです。グループの一人が皆の前に後ろ向きに立って、いろいろな質問に答えます。そして、グループの皆も立って同じ質問に答えますが、自分の答えと前の人の答えが違ったら座ります。最後まで立っている二人はベストフレンドということでした。本当に楽しかったです。

エリック・シューラー

## 広島

原爆というと、広島、長崎とアメリカの三つの場所が思い浮かぶ。

この三つの関連が何よりも深いからだ。日本にある程度長く滞在しているアメリカ人の私にとって、アメリカ人が日本を訪れる機会があれば、広島と長崎の原爆資料館を訪ねるべきだと考える。広島「か」長崎ではなくて「と」だ。その理由をこれから説明する。

長崎よりも、広島は原爆記念館の方が知名度が高い。お客さんが世界の各地から、原爆ドームや佐々木禎子さんの像など原爆事件と関係深い様々なものが並んでいる、平和記念公園に来る。このように、広島は街の中には痛ましい原爆の影響を伝えるものがたくさんあるのだ。

広島は記念館内には展示品が次々と並べられており、何も欠けることなく、広島は原爆事件に関する情報がその小さな記念館に入っている。そのため、広島は資料館をみて原爆が日本に与えた影響について学ぶ事ができるといふ意見は分かる。両方の資料館を訪ねないと、実際にどのように自分の国が日本に影響を与えたか理解することにはならない。

長崎の原爆資料館は広島のものとは違い、広い空間のある資料館だ。入口を超えてから、暗い蕭々な展示に出会い、それぞれの展示品にそれぞれのみに向けられたスポットライトで照らされている。時間が止まった感じがする。この永遠と感じる迷路の中で、爆弾が落とされた瞬間に被爆者がどう感じたか、たとえ少しでも想像できているのではないかと私は思う。

広島の方では、原爆がどのように広島市全体に影響を与えたかを学ぶ事ができるが、長崎ではより被爆者の体験に注意が向いていて、個人にどう影響したかを知ることができるように感じた。もちろん、直接的な体験のない私たちが両方を訪れたとしても、本当の意味で当時の状況を理解する事はできないだろうが、両方の資料館へ行かないと、被爆者と、広島、長崎への影響を、理解し始めることすらできないのではないかと思う。

フィリップ・バックマン

# 黒鳥羽衛 第四話

黒鳥羽衛（くろとりはねえ）と白鷺の前には、冠をかぶったカエルは立っていた。「わしはガエルじゃ。わしの沼地王国に入った馬鹿はだれだつて？」太い声でそのカエルは言った。

黒鳥と白鷺はしばらく黙った。カエルも何も言わなかった。静寂の中で色々考えながら黒鳥はその巨人の太ったカエルを見て、くすくす笑い始め、「白鷺！どアホ！こんなカエルが陸軍を持っていると思うか？こないだ私はバカにされたと思って腹がたつたけど、もはや怒る気にもならんわ。これはめっちゃ面白い！いいどういう冗談や？」

「冗談じゃない、殿様」白鷺は答えた。

そうこうしているとガエルが、突然大声で「ケロケロ」と言い出し、何匹もの小さなカエルが沼からポンと一匹ずつ現れた。

ポン！ポン！ポン！ポン！

それを見て黒鳥はびっくりした。

白鷺はニヤリと笑った。「ほらねえ！陸軍があるやん、このガエル様の。」と。

黒鳥は「うーん。そうか。申し訳ない、白鷺。私はあんたのことを疑つてた。ごめん。」と言った。

「大丈夫だよ！謝らないでね。」白鷺は言ったが、「いや、謝らなきゃね。申し訳ない。ありがとう。白鷺は自分の国を出てまで、私を手伝ってくれたのに。そんな味方はかけがえのないもんやな。申し訳なかった。」と黒鳥は答えた。

「光荣だ、殿様。」

「白鷺、君はもう自分の王国に帰って自分の王国を守って。ありがとう。」と黒鳥は言った。

「本当？最後まで手伝うつもりだったのに。」

黒鳥の声は暖かくなった。「うん。もう感謝してもしきれへん！白鷺の友情のお陰で、私達の孫の孫も味方として関係が続いてくはずや。」と言った。

白鷺は泣いた。「感動した、殿様。頑張つてね。そのこずえと言う敵を必ず退治してね！」

「おっしや！」

白鷺は丁寧におじぎをして、東の空に飛んでいった。

ニコニコしながら、黒鳥はガエルに向かった。「じゃ、行こうか？」と。

「行こう」とガエルは言った。

「うん！私の王国を取り戻そう！」

それからガエルは口を広く開けて黒鳥を飲み込んだ。

終わり

播磨瓦版製作委員会

ギヤレット・ノリス

ジョセフ・ルービッツ

コーリ・マッケンジー

カイル・カズラスキ

ジャックリン・リースミクラ

花・ブッシーヘッド

フランス・リー

竹田悠耶先生

金田英里先生

